

六ツ美中部小学校
校長室だより
令和5年10月25日



第6号

いつもここに元気な子

なのはな



六中小
ホームページ

<ホームページアクセス数>
4/14 : 2,243,218
10/23 : 2,346,743
単純計算で1日に約540
回アクセスが増えています。
御覧いただき感謝です。

ざっくばらんに論議する会 ~ざくろの会~

コミュニティ・スクールとして、半年が経過しました。これまで、家庭や地域の方の力をお借りして、教育活動や校内環境の充実を図ってきています。先週の土曜日には、20名近くの地域の方が、この夏にグラウンドの中まで勢力を広げた雑草を抜いてくださいました。ありがとうございました。

このように、コミュニティ・スクールとしての歩みを順調に進めている本校ですが、**より子供を中心に据えた協働体制を充実させる**ため、学校運営協議会の天野会長の発案で、月1回みんなで集まって、学校に関する様々な課題について意見を述べ合う**ゆるい会**を2学期から実施することにしました。これまでに2回実施しています。

学校運営協議会という正式な会ではなく、参加メンバーが意見交流をする**非公式な会**という位置付けです。参加メンバーも学校運営協議会委員だけでなく、**課題に合わせて様々な方が参加できるオープンなもの**です。今後、多くの方が参加できる会に育てていけたらと思います。

会の名は、**ざっくばらんに**、子供たちのために論議（ろんぎ）する会という趣旨から、「**ざくろの会**」としました。**ざくろの花言葉は、子孫の守護**。ぴったりのネーミングになりました。

第2回ざくろの会には、愛知教育大学教授で文部科学省のCSマイスターの肩書をもつ風間先生をお呼びして、御指導・御助言をいただきました。御助言の中で、正式な学校運営協議会という会議の中だけではなかなか具体的な議論が進まない中で、このような会を位置付けているのは効果的だと評価していただきました。また、**コミュニティ・スクールは、持続性がカギ**。小さく生んで、**当事者として議論**しながら大きく育てることがよいとアドバイスをいただきました。

これから、**焦らず地に足をつけて**、コミュニティ・スクールとしての六ツ美中部小学校を、地域・家庭とともに育てていきます。



「ざくろの会」をみんなで育てていく



この畑で菜の花を育てます

あいさつは いつでも どこでも だれとでも

10月のめあては「せいっぱい あいさつをしよう」でした。9月末に6年生の前期代表委員が中心となって決めて、後期代表委員に引き継がれたものです。この10月、**めあてを意識して生活**する中部っ子がたくさんいました。やはり**元気のよいあいさつは気持ちがいい**です。この元気のよいあいさつが**習慣**となれば、中部小が**さらにパワーアップ**します。



あいさつは、友達をつくり、感謝を伝え、礼儀正しさを示し、笑顔を広げます